

～新しい教育活動の適正な実施～



恩方中だより

ホームページ <http://hachioji-school.ed.jp/ongtj/>

八王子市立恩方中学校

令和7年9月2日発行

第5号

校長 植田 恭正



充実した2学期に向けて

30日の夏季休業が終わり、先週から2学期が始まりました。おかげさまで大きな事件や事故もなく、心身ともに日々成長し、元気に登校する姿を見ますと、とても嬉しく思います。始業式の生徒は大変落ち着いており、教員との再会を喜ぶ姿がありました。夏季休業中は学校運営協議会や教員の主催による勉強会に多くの生徒が参加し、部活動にも励み、充実した夏休みを過ごしていた様子を感じ取ることができました。教員も2学期の準備・校内研修・校内環境整備を進めた夏季休業でした（HPをご覧ください）。2学期はおおよそ4か月もあり、季節も夏から冬へと移り変わります。季節の移り変わりに備えて私たちの生活も早め早めから準備をすることが大切です。特に今年度は体育祭が秋の10月18日（土）に実施しますので、一歩先を見据えて、充実した2学期を過ごすことができるよう学校運営をまいります。

今年は、終戦後80年の節目の年でもあります。報道では日々平和の大切さや、戦争についての特集が組まれております。私も祖父母から戦争当時の話を聞いた内容を微力ではありますがしっかりと伝達しなければならないと思っております。これからの日本を背負う生徒たちに当時のことを理解する良い機会ととらえています。保護者・地域の皆様も是非、生徒達へ当時の話を伝達いただけましたら幸いです。

最後になりますが、2学期初めのこの時期は気持ちが不安定になる場合が誰にでもあります。少しでも気になることがあるときには、先生や身近な大人にすぐに相談するように生徒たちに伝えております。先日も多くの生徒が教員と話をしています。話をすることは支えあう第一歩だと思いますので、何かお気づきのことがございましたら、恩方中学校までご一報をお願いいたします。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

生徒たちの活躍の記録

Tシャツデザイン画100選に入選

八王子商工会議所が主催する「Tシャツデザイン画 100 選」が今年度も行われ、本校からは3年生の渡辺わか奈さん・1年生の黒木瑠香さんが入選いたしました。

作品展示と表彰は8月22日（金）、東京たま未来メッセ（明神町3の19の2）展示室Aで行われました。

2人とも恩方カルチャークラブの美術部所属で作品を出品し、選考結果で入選しました。



渡辺わか奈さん作品



黒木瑠香さん作品

第75回東京都中学校ソフトテニス選手権大会において男子ベスト16位・女子ベスト32位

中学校では授業が継続していますが、中体連加盟部活動において活躍をしている生徒がいます。男女ソフトテニス部は駒沢公園で行われた第75回東京都中学校ソフトテニス選手権大会において、八王子市代表校の一角として出場し団体戦で男子が東京都内ベスト16、同じく女子も東京都内ベスト32の偉業を達成しました。



第72回東京都中学校バドミントン選手権大会において3年金岡壮達くんが準優勝

第72回東京都中学校バドミントン選手権大会において、3年生の金岡壮達くんが個人戦において東京都大会準優勝となりました。引き続き、金岡くんは8月8日に神奈川県小田原市小田原アリーナで開催された関東大会個人の部東京都代表として男子シングルスに出場し、栃木県代表の宇都宮市立若松原中学校の藤原くんと対戦し第1セットで3点差に迫ったものの惜しくも2セットを奪われ2回戦進出を逃しました。バドミントン人口が多い中でのこの成績は立派なものです。



第 65 回東京都中学生吹奏楽コンクールで吹奏楽部が銀賞

夏の大会の結果が続々と入ってきています。府中の森芸術劇場で行われた東京都中学生吹奏楽コンクールにおいて吹奏楽部が銀賞を獲得しました。金、銀、銅、努力、奨励といった5賞の中で銀賞は立派なものです。3年生は原則このコンクールで引退となりますが、1年間の成果を当日は思う存分に発揮してくれました。おめでとうございます。



陸上競技部活動報告

第76回地域別陸上競技大会(多摩大会)【入賞者および都大会出場者】

氏 名	種 目	記 録	順位／自己新 他
佐伯 生京	共通棒高跳	2m40	第7位
田口 咲太	共通110mH 共通四種競技	16" 16 2158点	第5位 第5位
110mH:15" 97 砲丸投:9m84 走高跳:1m59 400m:57" 87			
瀬川 駿	共通110mH 共通走高跳	16" 94 1m63	総体通信出場 優 勝
松本 将翔	共通砲丸投	10m49	第3位
増田 康太	共通砲丸投 共通円盤投	9m36 15m01	第8位 総体通信出場
菊田 瑞姫	共通走高跳	1m35	第8位
塚田 愛菜	2.3 年走幅跳 共通棒高跳	4m72 2m00	第3位 総体通信出場 第6位 総体出場
和智 実華	2.3 年走幅跳	4m47	第8位 総体通信出場

祝 都大会 出場 祝 7名 11種目

第75回はちおうじT&F競技会【入賞者】

松本 将翔	砲丸投	10m35	第 2 位
	円盤投	31m12	第2位
菊田 瑞姫	走高跳	1m40	第8位 自己新

第30回西東京陸上競技大会【入賞者】

田口 咲太	共通走幅跳	5m90	第3位
鳥海 玲	共通走幅跳	5m63	第6位
草木 義織	1年1500m	5' 22" 08	第7位
菊田 瑞姫	共通砲丸投	8m22	第5位
塚田 愛菜	2年100m 共通走幅跳	13" 72 4m63	第3位 第2位

第64回東京都中学校総合体育大会陸上競技大会【入賞者】

氏 名	種 目	記 録	順位／自己新 他
田口 咲太	共通四種競技	2 1 4 3 点	第7位
110mH:15" 74 砲丸投:8m18 走高跳:1m61 400m:56" 71			
松本 将翔	共通砲丸投 共通円盤投	1 0 m 5 3 3 0 m 6 5	第8位 第7位

第71回全日本通信陸上競技東京大会【入賞者】

田口 咲太	共通四種競技	2 3 4 2	第5位
110mH:15" 14 砲丸投:9m79 走高跳:1m64 400m:56" 51			
松本 将翔	共通砲丸投 共通円盤投	1 0 m 7 4 3 2 m 2 5	第8位第5位



▲砲丸投・円盤投で入賞の松本くん



▲四種競技で入賞の田口くん

第54回青梅市陸上競技選手権大会【入賞者】

高橋 颯太	1年砲丸投	4m92	第4位
鹿島 陽向	3年1500m 共通3000m	4' 49" 51 11' 05" 52	第5位 第7位
田口 咲太	3年110mH 3年走幅跳	15" 30 6m11	第2位 大会新 第4位
鳥海 玲	3年走幅跳	5m52	第8位
増田 康太	3年砲丸投	8m91	第5位
岩本 粋	1年走幅跳	3m79	第7位
塚田 愛菜	2年100m 2年走幅跳	13" 71 4m66	第2位 第1位
菊田 瑞姫	3年走高跳	1m25	第7位

今年度も学運協主催の夏休み基礎教室と学校主催のサマースクールが開催されました！



学校運営協議会主催の夏休み基礎教室が7/28から3日間、中学校主催のサマースクールが8/20から3日間、それぞれ行われました。両方でのべ40名近くの生徒が、エアコンが効いた涼しい教室で勉学に励みました。地域の元教師の先生方と共に、学校の先生方も加わり、夏休みの宿題などを個別に指導を受けて、宿題の大半を仕上げた生徒がいました。また、英検や漢検の演習をし、2学期の試験に備える生徒もいました。恩方中学校で学ぶ三年間はあっという間。卒業後の進路は自ら開拓しなくてはなりません。春休みにも行いますので、自宅ではなかなか勉強が手につかない生徒にはお薦めです。

戦後 80 年記念企画

終戦記念日に向けて「八王子空襲と恩方の子どもたち」

今年は終戦記念日の 80 年目の節目になります。中学生の皆さんには遠く昔の歴史の教科書に出てくる出来事のようにですが、日本国民であればこの日を忘れてはならないと思います。

太平洋戦争だけで 310 万人の人が亡くなり、うち民間人犠牲者だけでも 80 万人と言われていています。戦争が終わった 80 年前の 8 月 15 日。日本国民が何を考え何を後世に伝えたかったのか。平和を願った人々の思いを、我々が考えなければならない。そんな日が今日の 8 月 15 日なのだと思います。

皆さんは恩方中学校隣の皎月院入口にある右手の忠魂碑(写真トップ)をご存知ですか？かつて恩方からも日清・日露戦争から太平洋戦争までに多くの軍人が出征していき命を落とされた人々がいます。その人々の思いと名前を刻むために建てられたのが忠魂碑です。恩方の人々も戦争で亡くなった方々がいることを忘れないで欲しいと建てられたのが忠魂碑です。

今では平和な恩方中学校周辺ですが、今から 80 年前はどうだったのか少し見ていきたいと思います。戦争末期となった昭和 19 年 6 月、米軍が日本からほど近いマリアナ諸島を攻略すると日本への爆撃機による本土空襲がはじまりました。

そうした中で、8 月 17 日には品川区原国民学校から空襲を逃れるために疎開児童が恩方へ来ることになりました。親元を離れ、不安の中にいる疎開児童たちを恩方の人々は宝生寺などいくつかの宿舎で快く受け入れることになりました。疎開児童数は 120 名ほどで、これ以降は恩方第一小学校で恩方の児童たちと共に授業を行うことになりました。

年が明けた、昭和 20 年。戦局は日々悪化していきます。3 月 10 日には東京大空襲によって約 10 万人の人が亡くなりました。それは酷い惨状でした。より都心部に住む人々は郊外や地方へ疎開先を求めることが増えたそうです。この頃になると恩方の疎開児童や地元の児童たちは、勤労動員のために借り出されることも増えていきました。



皎月院入り口にある忠魂碑



サイパン島を飛び立つ B29

地域の人達による食べ物の工面も大変だったようです。そんな生きていくのに必死な中でも、米軍に対する警戒警報、空襲警報の発令が日に5・6回にも及んでいたそうです。寝る間もなかったわけです。終戦もあと2週間ちょっとなにに迫った7月31日夜と8月1日昼。いつもの空襲警報と共に多数のビラ(写真参照)が上空から撒かれました。これは米軍による「中小都市の市街地焼夷作戦」の一環で、八王子空襲を事前予告するために撒かれたものです。

当時の日本には空襲を予告されても、それを防ぐ力すらないことを国民に知らしめるための米軍による心理作戦でした。米軍の予告どおり8月2月末明、八王子は米軍爆撃機B29による約2時間余りの大空襲を受け、八王子市街地の約80%が焼け野原となり、恩方を含む近隣の町村でも被害を受けたそうです。この空襲でなんと東京大空襲と同規模の合計1600トンの焼夷弾が投下、攻撃密度を考えたらとんでもない量の爆弾が狭い八王子に投下されたことがわかります。

米軍は、八王子に隣接する相模原等の軍需工場や軍関係施設がこの地域に点在し要塞化していることに懸念をもち、特に八王子市は労働力と住宅の供給地とみていました。さらに、中島飛行機地下工場(浅川町)の建設をはじめ周辺部では本土決戦に備えた軍関係施設の設営、軍隊の駐屯なども行われていたので念入りに爆撃をしたのだと思います。

予告ビラに従い、八王子一帯に1日午後8時20分に警戒警報が発令されました。しかし午後10時頃、神奈川県川崎・鶴見方面爆撃の情報が入ったため八王子市の警戒は解かれたそうです。しかし、2日真夜中の午前0時45分頃、突然空襲が始まり、波状的攻撃は2時間近く繰り返されました。この空襲で市街地はすべて火の海となり、夜が明けてもまだ燃え続けているところもありました。

八王子市がまとめた「八王子の空襲と戦災の記録」によると、小野田の方面から宝生寺・川口に至る带状に恩方村は焼夷弾による爆撃を受け焼き尽くされたそうです。疎開児童の宿泊していた宝生寺も焼夷弾によって焼けてしまいましたが、先生たちの誘導によって児童たちは一命をとりとめたそうです。

周辺住民を巻き込んだ空襲により、死者445人(八王子市以外の旧浅川町なども含める)、負傷者2,000人以上、被災人口70,000人、焼失家屋14,000戸の被害が生じました。

恩方第一小学校の校内にも、3発の焼夷弾が落下しましたが、多くの先生方や地域の人達の力によって焼失は免れました。児童たちの学び舎は、多くの人々の努力で守られたのです。

しかし、すぐ近くの心源院(写真参照)は寺内の本堂や山門などが全て焼け落ちてしまいました。B29の飛行ルート(写真最後)が少しでもずれていたら結果は大きく変わっていました。

こんな惨劇が起こった数日後の8月5日には、現在の高尾駅(当時は浅川駅)を発車した長野行の中央本線の汽車が米軍戦闘機により湯の花トンネル付近で銃撃され、50人以上の乗客が亡くなる痛ましい事件が起きました。終戦まであと10日の出来事でした。一般市民を巻き込んだ太平洋戦争。この戦争で、多くの罪のない命が奪われたことは間違いありません。普通に生活をしていて人々の命が、一瞬で消え去っていったのです。平和な日本で暮らす私たちが、未来に残せることは何なのか。そんなことを考えるのが、8月15日終戦記念日なのだと私は思います。社会科の教員として、恩方中学校を預かる副校長として、私は二度と戦争の経験を生徒たちにはさせたくない。そんな思いを込めて、恩方の当時の様子を関係者の方々が残された文献を元に書き記してみました。

副校長 早川 功

